

## 地域のみんなで 防災訓練を実施

8月31日、町内全域で南海地震・津波を想定した総合防災訓練を実施しました。

この防災訓練は、平成17年度から高知県下で一斉に行っており、今年も市町村各地でさまざまな内容の訓練が取り組まれました。



地震により避難をする住民(芝地区)

### 地域の取り組み



火災発生!みんなで協力し、バケツリレーによる消火活動(大和田地区)

町内各地域での訓練では、沿岸部は津波、山間部は土砂崩れなどを想定した避難訓練や、安否確認の情報伝達を行い、その後、自主防災組織などで地域の実情にあった災害を想定し、消防団員指導のもと、初期消火訓練や炊き出し訓練、ビデオ学習などを行い地域の防災力の向上に努めました。



浜の宮地区・町地区・万行地区合同での炊き出し訓練(浜の宮地区)

### 災害対策本部を設置

役場では、町長をはじめとする職員らが入野小学校に災害対策本部を設置し、対策本部佐賀支部や消防団と連携しながら、各地域から入ってくる情報を収集し、整理しながら町内の被害状況把握する災害時の初動対応訓練を行いました。



入野小学校に設置された、災害対策本部および消防団本部

さらに、入野地区で負傷者が多数発生したと想定して、入野小学校体育館に救護所を設置し、高知県災害医療対策幡多支部の指導のもと、けんみん病院の災害時医療支援チームが実際に来て「トリアージ」と呼ばれる負傷者を選別しながら手当てを行う災害時の医療救護活動訓練を消防団員な



傷病者を救護所へ搬送する消防団員



医療チームによるトリアージ

どと連携しながら実施しました。

災害時には、日ごろやっではないことはできないものです。そうした意味でも、防災訓練はまず『参加すること』が重要です。

実際にやってみた訓練のよかった点、悪かった点を点検し、自分たちの地域は災害時に何が起こりうるのか、どのような対応や事前の対策が必要なのかをみんなで作る、地域の実情にあった訓練を実践していくことが確実な備えにつながります。

南海地震は100年前後の周期で発生すると言われており、今後30年での発生確率が50%程度となっています。

この南海地震に対し、今私たちは何をしなければならぬか、今一度この機会に自分自身、家族、地域のことを考え、これから先もみんなが訓練に参加し、訓練を見直し、より実効的な訓練を重ねていきましょう。

お問い合わせ先 【本庁】総務課 消防防災係 ☎43-2112(直通) 【佐賀総合支所】総務課 総務係 ☎55-3113(直通)